



たき火でマインドフルになる山荘の旅

一泊二日 三食山付き

The un-designed journey
Taki full
“BOSCO” @Hadano city (vol.2)

Produced by
コンニャクヤ姫

冷えていても

柔らかい空気の音

都会の喧騒に溺れ

夢も 星空も

明日さえも
見えなくなつてしまつた

君のことを想う

忘れない過去は

避けられなかつた運命は

もう全部

たき火で燃やそう

一泊二日 三食山付き

これが「たきふる」だ

The un-designed journey

Takibi de

自然を感じてただ呼吸する
考えない 考えてはいけない
たき火を囲んでマインドフルになる1泊2日



横浜市は妙蓮寺
コンニャク屋から約2時間
秦野市大山で焼きたての安納芋を味わう
しあわせと この旅の主役を あなたに

たき火で
マインドフルになる

この旅の名前は
そんなコンセプトから
生まれた

急がない 頑張らない
無理しない 懈まない

言葉さえ忘れて 芋を包み 焼く

無垢な心で

おいしい芋の焼き方をさがす

一日という時間の

贅沢な使いかた



体で感じて

感覚で対話する

風も 摆らぐ炎も 杉の枯葉さえ

何を伝えようとしているか

わかるようになる

言葉じゃないんだよ

そういうのじゃないんだよ

ここにきて 薪木をくべてみるといいさ

ただ燃やすだけ

炎を見つめるだけの時間

それがマインドフル
つまり人生ということ



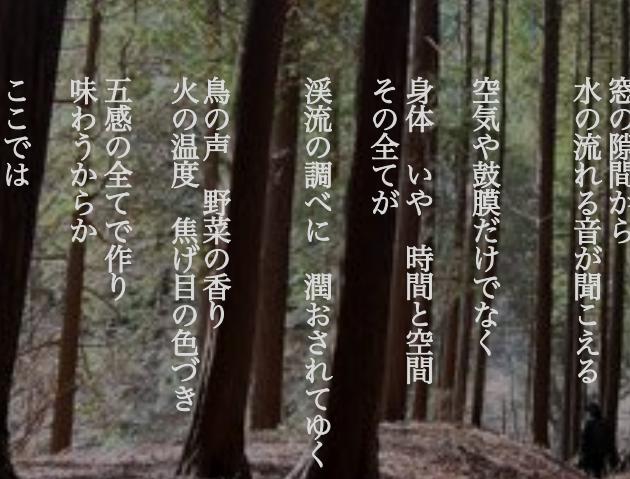
The un-designed journey
mindful

火を灯し 焚べる薪木が心の暖炉
滾る炎 肉の焼ける音 冬の大三角
これぞ必勝の理 乾杯

室内キッチンは充実してる
野外の火窓はワイルドな直火
焼けば何でも美味しいから もう全部焼く
ずっとたのしい これはいいぞ



鳥の声 野菜の香り
火の温度 焦げ目の色づき
五感の全てで作り
味わうからか
ここでは 何を食べても美味しい



空気や鼓膜だけでなく
窓の隙間から
水の流れる音が聞こえる
身体いや時間と空間
その全てが

溪流の調べに 潤おされてゆく

季節：虫のいない秋(11月頃)

プラン：1泊2日(基本土日祝)
3食/間食/飲み放題付き
お子様可・ペット可
価格：全込み¥16,000程度
(人数によって安くなります)

募集：Driver(1名)
持ち物：着替えとバスタオル持ってきて

Join and Entry

ぼくたちは、今年もこの旅を続けることにした。来年もきっとそうだ。またここに足を運んでいるんだろう。この旅路は、常に開かれていて、予定がない。心に余白がないならば、ぜひ来て欲しい。マイドフルにならば、なるなう。

疲れた時は、
たき火をすれば
だいたい良くなる。

令和3年のこと。新型コロナウイルス感染症の流行が一時おさまり、外出制限が緩和された。度重なるテレワークに閉塞しつつと癒されたくなったのが、ことの始まりだった。



山荘：2LDK + 山付き
8名宿泊可

料理：IHと温熱ヒーター一つずつ
たき火、BBQグリル台

野外：渓流釣り体験
紅葉・杉林
澄んだ空気、夜空

Environment

秦野市は大山。標高は一千五百メートルといったところだ。下界より数度、気温が低く、空気は澄み渡っている。紅葉狩り、自然の中でのんびり過ごすことができる。近くには、サンショウウオも生息しているらしい。山荘にこもつてもいいだろう。それもまた一興だ。

キッチンは広く、焚き火で料理をすることもできる。気張らず、芋やリンゴを焼けばいい。食べて寝て、夜空を見上げる。星空から舞い降りてくる、やさしく冷たい風が、頬をなでおろす。大満足な世界がある。

bedrooms

二段ベッドの部屋と4名の和室がある

皆が寝静まった頃に「もう寝た？」と誰かが言う。
「次喋ったやつ負けな！」と言ったやつが喋る。
頭から足の先までの空間がやや狭いが、この部屋
は楽しい。よく暖房が効くので、身に沁みる暖か
さがある。



deck

朝、ホットサンドを食べながら
ここでコーヒーを飲むと最高だ

ただ座って、コーヒーを飲む。それだけなのに、
悠久を感じ、感動しさえする。ウッドデッキって、
いいよね。鳥のさえずり、小川のせせらぎ。ここ
で自然を浴びよう。



dining

新しい杉のテーブルとあわせて
8名ほどのスペースがある

椅子が8脚、テーブルが二つ。和室にも広げたら、
大宴会場になる。石油ストーブの懐かしい香りと、
窓から入ってくる山の景色が見事に調和する。す
ぐ外に出たくなるのだが、このダイニングもいい。
ソファーもあって、誰かはそこで昼寝する。



garden

8名テーブル、火窓は二つ
空を見上げるウッドチェアが2つ

庭というより、山がついている。杉の枯葉や小枝
をあつめ、薪木とともに焚き火に焼べる。収容可
能人数は無制限。自由だ。走ってもいい。寝転
でもいい。例えば串で焼いた肉があったとして、
それは、どこで食べてもいいということになる。
暖かい日には、すぐ下にある川で遊ぼう。

(たきかる) 固有名刺(不可算)

焚き火でマインドフルになること。
また、そうなるための旅路のことを指す。

炎の深淵に映る俗世の偽り。

身を清め、心を洗い、

ただ焼き芋と熱爛を感じて己と向き合う





Open fire, nothing anymore



自家製ホットサンド

たき火でホットサンド
作ってみたんだけどさ
これが美味しいし楽しいのよ

今回は
チョコバナナサンドと
マヨケチャハムチーが
ラインナップ

焼き加減が難しいけれど
そこはおれに任せてくれよ

外はパリッパリの
中はトロトロに仕上げるからさ

Outdoor specialties

しっとり安納芋

焼き芋って
意外とコツがいるの知ってた？

新聞紙に包んでから
アルミホイルでさらに包んで
焚き火の中に入れるんだけど

思っている以上の、
さらにそれ以上に新聞紙に
水分を含ませなくちゃいけない

火の入れ具合によっても
柔らかさは変わってくる

この山で食べるなら
甘い蜜がジワリと滲む
アツアツの焼き芋が
一番美味しいかもしれない



赤身本マグロ造り



柵どりした魚を造る
もう3度目になるから
職人技の域に至る

昨年は2kgのブリを
ずっと引いていた

醤油、わさび、白髪ねぎ

これさえあれば、
すぐに一杯、したためられるさ

来年は、でっかい魚、買っていこ



indoor
cooking

鍋・温菜いろいろ



現代型のキッチンは便利
コンセント一つで
どこでも必要な火力が得られる

ゲストの前で鍋をするもよし
裏方で仕込むもよし

食材と調味料さえあれば
ほとんどの調理器具は
ここに揃っている

鍋でお湯を沸かすのだけ
時間がかかるね

さて、何品つくれるか。
食材と向き合う、
至高の時間。

Natural Party

各々が酒を飲みながら
やりたいことをする



自然な遊びの時間

大人になつて
足りなかつたのは

こどもの頃の遊び

用意されていない
体験すること

上手くできなくて
焦げてしまつても
おもしろい時間

工夫し協力し
知恵をしぼるから
本当の遊びがある

火を守らないと
料理もできない

わざわざ
自分で準備して
皆で食べる

便利つ
実は物足りない

都会では
お金払つて
作られた遊びが
提供される

大人になると
だんだんと自然な
遊び方を忘れる



Mindful Night

少し寒いくらいがいい
焚き火がとても暖かい



焚きビストは火を絶やさない
炎が与える安心は
マッシュマロとともに
マインドフルな夜を過ごそう
夜にこそ最高潮を迎える



Tips of this journey

自然の中で過ごす、最高にマインドフルな時間を過ごすためには、準備が必要だ。
クーラーボックスに調味料を入れて、趣味のグッズをカバンに忍ばせてゆく。
備忘録を兼ねて、この旅をさらに充実させる工夫を記しておきたい。

【この旅のコツ】

石油ストーブ満タンでお願いする
冷蔵庫を一番に冷やす
気を抜いたら鍋焦げる
2~4mの延長コードいる
金ぐし・ザル・わりばし
コップ類と取り皿
新聞紙・アルミホイルたくさん
キッチンタオル/ペーパー
バスタオル・スリッパ必須
ちゃんと火が付くチャッカマン
防寒グッズまあまあ必要
コーヒー最高
釣りしてもいいな
でかい魚あるとたのしい
でかい肉も焼けることがわかった
スギ花粉は注意
マシュマロ・チャーシュー・安納芋優勝
ホットサンドのチョコバナナおいしい
地鶏の網焼き・肉の直火焼きよかったです
柚子は余ったら風呂に入れるといい
布団は8組あった
炊飯器で米は炊ける
結構ごはん買っても意外と食べる
早めに帰って妙蓮寺でブリーフィングもあり
山に入ると時間の感覚がおかしくなる
このあたりはサンショウウオの生息地



Kitchen items



Timeline

daily life

Tokyo

???

Yokohama

8:30 (9:00)

connyaku-house



11:00

Shopping



13:00

Bosco Camp site

Lunch

Break time



15:00

Mindful

Activity

Party



22:00

Sleep out



9:00

Route
2023-

10:00

???

12:00

???

14:00

???



18:00

Debriefing

connyaku-house

Daily life ??



Memory

今回も、かなりよかったですんじゃね？
結構安いのに充実の一泊二日。場所も近い
のに、圧倒的な非日常。旅行だなんて構え
ずに、「ちょっと遊びに行く」くらいの感
覚で来れてしまう。

12月に入っていたから、気温とかも心配
だったけど、全然問題なかった。少しあつ
たかい格好をしていけば大丈夫。途中で服
も買えるし。

秦野市のBosco、もう常宿だから、次は10
人くらいで泊まろう。

大丈夫。
おれたち、野菜も育ててるからさ。

Taki fullはたのしい。秋や冬こそ山がいい。

荒んだ心は清められ、
自然が胸いっぱいに溢れてくる。
おれたち、満足しちゃったかもしれない。

ああ…、あした仕事やめようかな。



Staff (Recruit)

Position: "P"

Planner: Keisuke Ikeda

Photographer: ???

Position: "D"

Driver (first) : Masaki Hiraga

Driver (second) : ???

Designer (Travel report): ???

Dog runner: ???

Position: "C"

Chef (Western) : Jiro Sakamoto

Chef (Japanese) : ???

Cheerleader: ???

Position: "A"

Assembler: Kento Narushima

Artist (Mindful Music): ???

Alchemist: ???



File: 20221203X-Taki full(vol.2)
Written by Taki full editor 2022



コンニャクヤ畠
The un-designed journey
 **Taki full**
"BOSCO" @Hadano city



Summary

Access: ★★★★★★

Price : ★★★★★★

QOL : ★★★★★★